

京都の近代と岡崎

— 図案（デザイン）発信の拠点として —

2021年10月16日（土）14時00分 - 15時30分

京都府立京都学・歴彩館 1階 小ホール

定員 50名 | 事前申込制 | 無料

京都の岡崎は、京都国立近代美術館、リニューアルなった京都市京セラ美術館、ロームシアター京都さらに細見美術館など京都における文化発信の一拠点である。この岡崎の歴史を繙くと明治時代後半に平安神宮の設立も含め、この地が大きく変貌したことがわかる。明治時代後半の岡崎は、最先端の知と美（デザイン）の発信拠点であった。

明治28年（1895）に岡崎で第4回内国勸業博覧会と平安遷都1100年紀年祭が開催され、平安神宮ができる。博覧会の美術館は会期後に京都市の美術館となり、さらに、図書館（1909）、商品陳列所（1909）、第一勸業館（1911）などがつぎつぎとたてられた。そこは伝統産業と結びついた新しいデザイン創造の場であった。

明治と現代をつないで、京都岡崎を再発見するとともに、もうひとつの文化発信拠点としての北山のポテンシャルも考えてみたい。

1. 美術館



1. 美術館 『第四回内国勸業博覧会写真』 国立国会図書館デジタルコレクションより転載

2. 図書館



2. 図書館 京都府立京都学・歴彩館 京の記憶アーカイブより転載

3. 商品陳列所



3. 商品陳列所 『武田博士作品集』 京都工芸繊維大学附属図書館所蔵

【講師】

並木 誠士 日本美術史・美術館学

徳川美術館学芸員，京都工芸繊維大学教授を経て，京都工芸繊維大学特定教授・美術工芸資料館館長。『京都 近代美術工芸のネットワーク』思文閣出版 2017、『近代京都の美術工芸-制作・流通・鑑賞』思文閣出版 2019 他 編著多数。

三宅 拓也 建築史・博物館史

東京都現代美術館学芸員を経て，京都工芸繊維大学デザイン・建築学系助教。『近代日本〈陳列所〉研究』思文閣出版 2015，「京都商品陳列所と明治末京都の美術工芸」『近代京都の美術工芸-制作・流通・鑑賞』思文閣出版 2019 他。

藤本 恵子

京都府立京都学・歴彩館 資料課 専門幹。

京都府技術吏員（意匠図案職）採用後，京都府立総合資料館，京都文化博物館を経て，現職。『京の優雅 小袖と屏風 千總コレクション』京都文化博物館展覧会図録 2005 他。

京都の近代と岡崎

— 図案(デザイン)発信の拠点として —

日 時 2021年10月16日(土) 14時00分～15時30分(開場 13時30分)
会 場 京都府立京都学・歴彩館 1階 小ホール
講 師 並木 誠士(京都工芸繊維大学 特定教授・美術工芸資料館 館長)
三宅 拓也(京都工芸繊維大学 デザイン・建築学系 助教)
藤本 恵子(京都府立京都学・歴彩館 資料課 専門幹)
定 員 50名(事前申込制) ※定員になり次第受付を終了します
参加料金 無料

【お申込み方法】

以下のいずれかの方法でお申込みください。

- ・ 京都府立京都学・歴彩館ホームページ
<https://rekisaikan.jp/>
- ・ 電話
075-723-4831 全日 9時00分～17時00分

お申込みの際、①～③の内容をお伝えください。

- ①氏名(複数人の場合は全員分)
- ②電話番号
- ③参加人数



【アクセス】

〒606-0823

京都府京都市左京区下鴨半木町1-29

[電車]

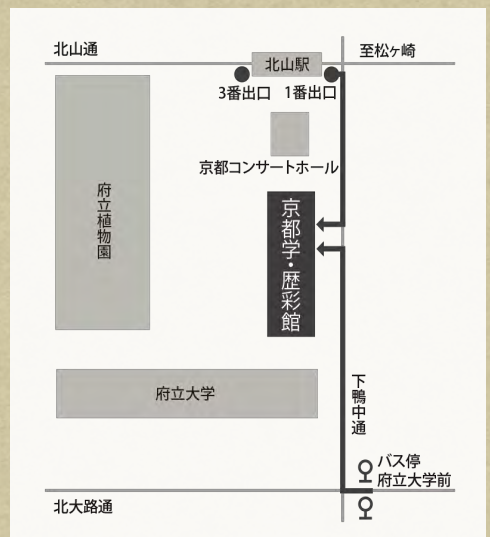
京都市営地下鉄烏丸線「北山」駅下車

①出口 南へ徒歩約4分

[バス]

京都市バス1, 204, 206系統「府立大学前」

北大路通より北へ徒歩約6分



館内では新型コロナウイルス感染拡大防止対策を行っております。
マスクの着用と入館時の検温、アルコール消毒にご協力ください。
※37.5度以上の方は入館をお断りします。
(その他、主催者の判断により入館をお断りする場合がございます。)
また、当イベントは延期等変更する場合がございます。

【お問合せ先】

京都府立京都学・歴彩館
電話 (075) 723-4831

主 催 京都府立京都学・歴彩館指定管理者
「コングレ・日本管財・丸善雄松堂共同事業体」

共 催 京都府立京都学・歴彩館

協 力 京都工芸繊維大学美術工芸資料館
京都工芸繊維大学附属図書館

京都府立 京都学・歴彩館
Kyoto Institute, Library and Archives

京都工芸繊維大学
美術工芸資料館
MUSEUM AND ARCHIVES

